

三重県入札等監視委員会 審議概要(令和6年度 第1回)

開催日及び場所	令和6年5月29日(水)14:00~16:30 JA三重健保会館 3F 大研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員 加藤 拓也	委員5名中4名出席
審議対象期間	令和6年1月1日から令和6年3月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

三重県入札等監視委員会 令和6年度 第1回定例会（令和6年5月29日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①防災通信ネットワーク(衛星系)整備工事[災害対策推進課]	
<p>・総合評価方式の審査集計表において、技術者の工事実績が0点に対し、技術提案等のヒアリングは15点となっている。ヒアリングでは配置予定技術者の工事監理能力について、どのような点を評価したのか。</p> <p>・1者入札となった理由として、施工箇所が多数あるためという記載があるが、施工箇所を分割して発注することは難しいのか。</p>	<p>・配置予定技術者の工事実績は、評価対象工事の実績がなく0点であった。配置予定技術者へのヒアリングについては、質問に対する応答性や業務の理解度を評価した。</p> <p>・分割発注とした場合、将来不具合が発生した際に責任の所在が明確とならない可能性があるため、一括発注としている。</p>
工事名 ②高野浄水場非常用発電設備改良工事[中勢水道事務所]	
<p>・低入札による案件であるが、入札時に条件により提出となっている「施工体制審査意向確認書」は今回提出があったのか。</p> <p>・地域要件を設定すると競争性が確保できないということであるが、仮に地域要件を設定した場合、入札参加者は何者程度となるか。 (本案件では、参加確認申請業者数は6者、そのうちの4者が入札に参加した。)</p>	<p>・入札時に施工体制審査意向確認書の提出はなかったことから、施工体制確認審査は行わず、低入札価格調査を実施した。なお、低入札価格調査であったため、総合評価方式の評価値は低入札価格ではなく、調査基準価格を用いて算出を行った。</p> <p>・地域要件を県内とした場合、プラント設備内の発電設備を施工する業者はそれほど多くないため、入札参加者は1者や2者程度になると考える。</p>
工事名 ③津松阪港令和4年災害埋塞対策(航路浚渫)工事[松阪建設事務所]	
<p>・1者入札となった理由として、他の業者がガット船の確保を懸念して入札参加を見送ったとのことであるが、ガット船の空き具合によっては参加したのか。</p> <p>・上半期に発注した同一箇所での関連工事と本工事では契約金額が大きく異なるが、理由は何か。</p>	<p>・入札参加条件を満たす36者は、作業船を使用した工事実績がある業者であり、ガット船の確保が不可能な業者とは考えていない。ガット船の確保にどれだけ力を入れられるか、受注意欲があるかどうかだと考える。</p> <p>・本工事の方が浚渫量が多いため、契約金額が大きくなっている。</p>
工事名 ④令和5年度 盲学校・聾学校建築工事監理業務委託[学校経理・施設課]	
<p>・工事監理の委託費はどのように求めているのか。今回の委託費、約1億5千万円は妥当な金額なのか。</p> <p>・受託者選定理由には、工事監理を設計者以外の第三者が行う場合もあると記載されているが、第三者に委託する割合はどの程度か。</p>	<p>・国土交通省が工事監理業務委託の標準的な積算方法を定めており、それに基づき算定している。</p> <p>・三重県の運用では、工事監理は設計者以外の第三者が行うことを基本としている。今回は施設用途や建築構造が特殊なため、設計者に工事監理を委託した。</p>
その他	
・次回、令和6年度第2回入札等監視委員会の開催日は、別途調整のうえ決定する。	